

認定シンボル表記場所

校正証明書

ULVAC

依頼者 依頼者名 〇〇〇〇株式会社
住所 〇〇県〇〇市〇〇〇-〇〇-〇〇

被校正器 種類 ピラニ真空計

品名	型式	製造番号	製造者
表示器	〇〇〇〇	〇〇〇〇	ULVAC
センサーユニット	〇〇〇〇	〇〇〇〇	ULVAC
測定子	〇〇〇〇	〇〇〇〇	ULVAC
測定子ケーブル	〇〇		ULVAC

校正量目 圧力 (真空)
校正方法 当社校正手順【MSC〇〇〇〇】による

参照標準器

品名	型式	製造番号	製造者	管理番号
隔膜真空計	CCMT-100D	103	ULVAC	HK0027
隔膜真空計	CCMT-10D	116	ULVAC	HK0026
隔膜真空計	CCMT-1D	125	ULVAC	HK0025
デジタルマルチメータ	2700	1281491	KEITHLEY	HK0029

校正年月日 〇〇〇〇/〇〇/〇〇 から 〇〇〇〇/〇〇/〇〇 まで

校正実施場所 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 C棟3F JCSS校正室

校正結果は別紙のとおりであることを証明します。

アルバックテクノ株式会社 生産統括本部 規格品部 計測機器課 標準校正G

神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

発行日 〇〇〇〇/〇〇/〇〇

校正証明書発行責任者

・この証明書は、計量法第144条（第一項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

・当事業所は、JIS Q17025:2018 (ISO/IEC17025:2017) に適合しています。

・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

校正条件	校正気体	窒素ガス 純度99.9 %以上
	測定子取り付け方向	重力に対して平行（被校正器接続口下向き）
	被校正器コントローラ設定	設定変更無し
	出力ケーブルの長さ	〇m

校正環境	装置温度	〇〇.〇 °C ± 〇.〇 °C
	校正室温度	〇〇.〇 °C ~ 〇〇.〇 °C
	校正室相対湿度	〇〇 % ~ 〇〇 %

校正結果

参照標準の値(Pa)	被校正器の値(Pa)	補正係数	相対拡張不確かさ (信頼の水準約95 %)
P_s	P_c	r	
〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇	〇〇 %
〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇	〇〇 %
〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇 × 10 ^〇	〇.〇	〇〇 %

- 1) 校正結果は3回の測定により得られたものです。
- 2) 参照標準の値 P_s 、被校正器の値 P_c は測定値からそれぞれのゼロ点を差し引いた値です。
- 3) 校正時の被校正器ゼロ点の平均値は 〇.〇×10^〇 Paでした。
- 4) 参照標準の値 P_s 、被校正器の値 P_c 、補正係数 r の関係は『 $r=P_c/P_s$ 』となります。
- 5) 校正の不確かさは包含係数 $k=2$ を乗じた値であり信頼の水準約95 %を示すものです。
- 6) 校正の不確かさは補正係数に対して算出しています。

以上

・この証明書は、計量法第144条（第一項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

・当事業所は、JIS Q17025:2018(ISO/IEC17025:2017)に適合しています。

・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPAC（アジア太平洋認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。